

令和3年3月新規学校卒業予定者の求人枠確保についてお願い

平素は、当所の業務運営に格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、このところ弱めの動きとなっているものの、設備投資、公共投資は増加しており、雇用者所得も基調的には緩やかに持ち直しているとされています。

このような景気状況を背景に、令和2年3月の就職決定率は新規高等学校卒業者で99.2%、新規大学卒業者で95.4%となり、高い率で推移しています。

一方、県内の一般求職者に対する有効求人倍率につきましては、平成25年7月以降、81か月連続で1倍台を維持しており、依然として採用意欲は高い状況ですが、新型コロナウイルス感染症の影響や米中両国間の動向などにより、国内外の景気の先行きに不確実性が増し、雇用情勢の悪化が懸念されるところです。

また、徳島県においては、近い将来、若年層を中心とした労働力人口が減少することは出生数の減少、人口流出の状況等から明らかであり、新規高等学校卒業予定者の県内就職につきましては、普通科高校や定時制通信制高校を含め幅広い学校へ求人を出していただくなど、将来を見据えた取組が重要であると考えています。

このような中、本年も新規高等学校卒業予定者の求人受付が開始されましたので、本県産業の将来を担う人材を一人でも多く正社員として確保いただきますとともに、採用後における人材の職場定着のため、働きやすく個々の能力を十分に発揮できるように職場環境の整備を図っていただきたく、特段の御配慮をお願い申し上げます。

なお、貴団体傘下の会員各企業の方に対しましても、別添リーフレット等により周知していただきますよう併せてお願いいたします。

令和2年6月1日

事業主団体各位

徳島公共職業安定所長

